

ニュース いちしNEWS

一志総合支所
地域振興課 発行
電話293-3000
FAX293-5544
平成29年12月16日
第36号

一志町ふれあいまつり



11月12日(日)津市一志総合支所周辺で、一志町ふれあいまつりが開催され、たくさんの来場者で賑わいました。

秋晴れの下、恒例のオープニング餅つきを皮切りに一志中学校プラスバンド部の演奏、よさこい等の様々なイベントが行われ、訪れた人たちは互いに「ふれあい」ながら、深秋の1日を楽しんでいました。



恒例の餅つきで、まつりがスタート！



美しいアルパとフルートの音色にうっとり



初登場の一志中学校プラスバンド部によるダンス



大賑わいのミニミニ商店街



地元シンガー「あつ」さんによるスペシャルライブと「紙ふうせん」のコンサートでは、会場に響きわたるさわやかな歌声に観客はうっとりしていました。



かわいい幼稚園児の演技

いっぱい採れたよ ～かわいっこクラブ 芋ほり体験～

11月9日(木)川合教育集会所隣の畑で、かわいっこクラブの子どもたちが、芋ほり体験をしました。

春先に植え付けをしたサツマイモは、大きく成長して食べごろを迎え、まだかまだかと土から掘り出してもらおうのを待っていたようでした。

参加した子どもたちは、おいしいそうな芋を目の前に、服が土で真っ黒になることも気にせず、秋の収穫を楽しみました。

おいしくいただけたかな？



おいしいそうな芋だ！！

不測の事態に備えて ～波瀬地区夜間避難訓練～



10月28日（土）波瀬地区全域を対象として夜間避難訓練が実施されました。

大規模災害はいつ何時発生するか予測できません。夜間に起こる災害に対する避難誘導、避難所の開設や運営等は、昼間では想定できない問題が起きる可能性があります。このことから夜間災害に対する訓練の重要さは認識されていましたが、安全上の問題もあり、今まであまり実施されてきませんでした。

当日は、午後6時に大規模地震が発生したとの設定で始まり、参加者は、避難訓練、発電機や投光器の設置、避難生活のための間仕切りや簡易トイレの設置、炊き出し訓練等を、雨にもかかわらず、てきぱきと行っていました。

一人暮らしの高齢者も多い波瀬地区で、このような訓練が行われたことは、とても重要な意味があり、集まった人たちは、これまで以上に防災への意識を高めたようでした。



日ごろの学びの成果を発表 ～川合文化会館文化祭～

10月28日（土）川合文化会館で、文化祭が開催されました。台風が近づいたこともあり天候が心配されましたが、朝方降っていた雨は徐々に上がり、順調に全ての催しを終えることができました。

当日は、各講座生の発表会、作品展示、バザー等とともに、元NHKエグゼクティブアナウンサーの村上信夫さんによる人権講演会が行われました。

様々な催しに幅広い世代の来場者が訪れ、文化交流のみならず、世代間の交流という面でも貴重な一日となりました。



大正琴クラブのみなさんと児童が合奏



会場をいっぱいに使った村上さんの講演



大好評のうどん
おいしかったね



恒例の餅つき
いつも大人気！



体全体を使って、一生懸命発表しました。
園児たちのかわいい演技はいつも大人気



初めての茶道体験に緊張



着付け体験
背筋が伸びます



バザーやポップコーンのコーナーも好評につき完売



歌声茶房開催 ～旧大井小学校～

10月18日（水）旧大井小学校で、「歌声茶房」が開催されました。

歌声茶房とは、旧大井小学校を拠点に活動するNPO法人大井町づくり委員会が「上手に歌わなくていいんです。みんなで楽しく歌いましょう！」をモットーに主催している歌の会で、今回が2回目の開催となりました。

みなさん、この日を心待ちにしていたようで、第1回目に参加した経験者や、楽しいとの噂を聞きつけ、事前に申し込んでいた方々、35名で会場が埋まりました。

当日は、深呼吸、発声練習、軽い体操からはじまり、講師の先生の伴奏に合わせて、童謡などおなじみの歌を歌っていきました。

津市在住でバンド活動もされている、講師の祖父江さんの軽快なトークや、運動を織り交ぜた歌の数々に、会場は終始笑いに包まれていました。



「歴史ウォーク」とことめの里～初瀬街道

～・・・～

11月9日（木）第17回歴史ウォーク「とことめの里から初瀬街道を歩く」が開催され、一志町歴史語り部の会が県内外からの参加者78人を案内しました。

参加者は、万葉集の一節にある「常処女」の由来となる「とことめの里」から、初瀬街道のぼたん峠、田尻宿を歩き、祥雲寺でご住職の法話を聞いた後、とことめの里でのお食事、お土産を購入するというコースを満喫しました。

天候に恵まれたこともあり、高岡山では矢頭山や雲出川が一望でき、途中では地域の歴史を紙芝居で楽しむなど、参加者は大満足の1日を過ごしていました。



（祥雲寺・住職の法話）



（初瀬街道・ぼたん峠）



（とことめの里一志）



（初瀬街道・田尻宿）

一流のスポーツ選手とのふれあい ～一志西小学校～

9月22日（金）一志西小学校で、一流スポーツ選手とのふれあいイベントがありました。

このイベントは、将来の夢に向かって日々学ぶ子どもたちの手助けにと県民共済の協力で実現したもので、女子サッカー日本代表「なでしこジャパン」のメンバーにもなった、元日本女子サッカーリーグ選手4名をお招きして、一志西小学校4年生の児童を対象に行われました。

前半は3つのキーワードである「夢（目標）を持つこと、夢に向かって努力すること、自分に関わる人たちに感謝すること」について、体験談を交えながら、子どもたちと体育館で意見を交わしました。

後半は、校庭に出て実際に体を動かすことを通して、仲間と一緒に汗を流しながら協力することの大切さを学びました。

輝くトップクラスの選手たちとの交流は、子どもたちを大いに刺激したようで、刺激を受けた子どもたちは、夢をかなえた人たちを目の前にして、一步一步努力をしていく決意を固めたようでした。



平楽寺（日置地区）



平楽寺の全景



五智如来



熊野観心十界曼荼羅

平楽寺は、真宗高田派に属し、本尊は阿弥陀如来で、831年（天長8年）空海の創建と伝えられ、その五智如来堂に大きな五智如来を安置しています。上段向かって左に大日如来坐像、中央に薬師如来坐像、右に釈迦如来坐像、下段左に阿闍（あしゅく）如来坐像、右に阿弥陀如来坐像をお祀りしています。

大日如来坐像（津市指定文化財）は、彫眼、檜の一木造りで智拳印（ちけんいん）を結ぶ金剛界大日如来で、平安時代後期作の像高77cmの落ち着いた立派な仏像です。また、釈迦如来坐像（津市指定文化財）も彫眼、檜の一木造りで、法界定印を結ぶ平安時代後期作の像高88cmの立派な仏像で、この二体は、もと日置字持仏堂に祀られていました。

かつてはそこに薬師寺という七堂伽藍がありましたが、天正時代（1573～91年）の兵火によって薬師寺が全焼し、一時、中の仏像は青巖寺に祀っていましたが、信徒の希望により平楽寺に別堂を建てて祀り、以後五智如来堂と呼ぶようになりました。あとの三体もほぼ同じ大きさで、作像時期は江戸時代となっています。この大きな五体の如来が揃って一堂に祀られている姿は実に壮観です。

また、平楽寺には珍しい宝物として、熊野観心十界曼荼羅（津市指定文化財）があります。この絵は、「熊野の絵」と呼ばれ、人生の坂道と地獄から極楽の十の世界を描いたものです。

（引用主要文献「一志町史」）

【おわびと訂正】

いちしNEWS第35号、シリーズ地域の名所旧跡その⑥において「鶏足山」とあるのは正しくは「足山」でした。おわびして訂正します。

レストラン秋桜よりご当地定食のご紹介

レストラン秋桜（とことめの里一志内）では、10月よりご当地定食と称して津市にちなんだ昔懐かしい献立を選びすぐり定食として販売しています。

まずは、一志地区でお祭りやお祝い事の時に食卓を彩った献立を販売いたしました。

メインは何といっても牛飯（波瀬地区で食されることが多いです）

その他大根や里いもを使った郷土料理にあら茶漬。

ご当地定食を注文された方の感想は「甘い味付けですがおばあちゃん味のご飯に似ています！」（牛飯）「こんな食べ方初めてです！」（焼き大根）などと堪能していただきました。

残念ながらご当地定食（一志編）は10月・11月で販売が終了し、12月からはご当地定食（白山編）を販売いたしております。

ぜひレストラン秋桜に足を運んでいただき白山地域の献立もご賞味下さい。

なお、ご当地定食は津市内各地域の献立を随時期間限定メニュー化していきますので楽しみに！！

（ご当地定食一志編は津市食生活改善推進協議会一志支部会員の皆様の監修によるものです）



焼き大根



里芋のから揚げ



あら茶漬



牛飯